

刊夕 日四月三

# 常磐每日新聞

定価 一部金五銭 二部金十銭 郵費五銭  
 電話 五五五 五五五 五五五  
 日曜 祭日の翌日 休刊  
 発行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日新聞社



## 我に子等あり 我に財あり

真繼 雲山

【三】

さて今少し、常識的に自分といふものがいかに本来固定してあるものでないことを考へて見ませう。お互ひに日常生活で木村とか佐藤だと自分で思つて居ますが、「木村」といふ名前を人間はいつおぼえたのか、誰が教へたか、生れ落ちるときから知つてゐるわけもないから、誰かに教へたに違ひない。赤ん坊の時には知らなかつたぢやないか。名前にかぎらず、すべての言語もこの知識も、みんな

アムテル  
 ダムの寶  
 石商ジョ  
 ンズミットによれば世界中の金剛石は約五十噸二億五千萬カラット約七百億非

生れて以來誰かに教へた自分だ本來知つてゐたものは一つもないわけだ。自分は今こゝでこの話をしてゐる。この言葉、思想、いかに自分の頭から朗らかに喋つてゐるやうに思へるが今靜かにこの知識、この言語、この思想の生ひ立ちを

考へて見ると一つだつてもつてはこなかつた。どういふところから訓練されたかといふことを忘恩的にも自分は忘れてゐますが、まがふことなく皆んな教へられたものだ。皆周囲に教へられた。縁のある人に、縁のない人ない人に名前さへ忘れた人に、一切の世間の人々のお蔭で、さういふ言葉が今つかへるやうになつたぢやないか。素より自分といふこの一時的の組合せ一有機體といふアンテナはありました。このアンテナにかゝつて來た、凡ての世間の恵み多き響きが今の私共の思想をつくり上げてくれたのです。アンテナへ送つてくれたのは矢張り外からの大きな冥加力なんだから今の自分といふものに元來、本體といふものがあるぢやない。私共は元來無體、勿體です。だから自分の身體ぢやない。自分だけの心ぢやないだから自己の心自己の身體でもないものを何故お前は私する資格があるのか人間が自殺をするといふのが、一人人間各自は自分の身體であつてこそどう自分で處分しようとするか、自分の所有でもないのにどうして最後を與へる資格をもつてゐるのか。こゝに「勿體ない」といふ考

へがわいてくるのです。自分のものなら勿體なさはない。かう考へてくると、自分は自分のものではなかつた天下の預りもの借りものぢやないか、世間の公器公物ぢやないか、お前はたゞこれを壊さないやうに死ぬ迄成可く世間の役に立つやうに護り持つことだけを許されてゐる。これを傷つけ私し、甚だしきはこれに最後の止めを刺すだけの資格は何處にも與へられてゐないのだ。こゝが釋尊の無我無我所の心境であらうと思ひます。自己尊重勿體ないといふ心持、この私が假りに私と稱んでゐるものは實は皆んなの力の集りて出來

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】牛乳 コ、ア、ト  
 スト フルース

【晝】親子丼

【晚】三つ葉お浸し 照焼きむつ

たのだ。天下の合力だ、勿體ない事だ、この己れをば決して互ひに私してはいけない。この自己に苟且なる結論を與へては勿體ないのだといふ尊い考へ方が出て參ります。「自分」といふものはどこにもない。思ひ上がつた心の本陣たる「自我」

の中に何一つの「よるべ」を見出さないやうに、つきつめ、つきつめたところに私達は退いて「勿體なさ」の心持、無我無我所の氣持をにぎり得たのです。何もたよるべきものはない、だから勿體ないのだといふ、一つの論理のはねかへりが行はれるのですどこか自分の中

に「我」といふかたいものよるべを求めますと、その上に思ひあがつた、たけりくるふ迷執をもつのです。然しすてきつたところにかへつて「勿體なさ」といふやうなやんぱりとした「よくと」のへしおのれ」を見出すのです。

産婦人科 院長 木村寅次郎  
 外科 醫學博士 内木宗八  
 藥局 藥劑師 立番彌一  
 平町新川町十九  
 病室隨意 入院完備  
**木村病院**  
 電話 六四番

花環 花籠 蓮華  
 造花  
 町川新平橋  
 屋本  
 番三六一話電

一、本科五〇名 二、裁縫專修科百名  
 三、專攻科三〇名 四、師範科 二〇名  
 五、本科裁縫專修科二學年補欠 若干名

文部大臣 藤田女學校 募集徒

一、願書受付 三月三十一日マデ  
 二、詳細ハ學則請求ノコト

平町田町 (電話三二八番)

磐城共濟病院 (福島縣平町) (電話六四一番)

|        |                  |
|--------|------------------|
| 小兒科    | 院長 山謙一郎 (電話六四一番) |
| 婦人科    | 部長 賀一忠 (電話三三〇番)  |
| 外科     | 部長 大町久藏 (電話二七二番) |
| 皮膚泌尿器科 | 部長 前澤正 (電話二七二番)  |
| 耳鼻咽喉科  | 部長 山謙一郎          |
| 花柳病科   | 部長 山謙一郎          |
| X光線科   | 部長 山謙一郎          |
| 衛生試驗所  | 部長 山謙一郎          |
| 藥局     | 部長 山謙一郎          |

○毎日午前八時ヨリ午後十時迄診療  
 ○夜間診療開始(毎夜午後十時マデ)  
 ○病室完備 入院隨意

内科 川井内科診療所  
 平南町(電話二四三)  
 川井安子

是非!  
 御融通には御用命下さい  
 萬事便利な御相談に應じます

三井質店  
 平四・電六〇六番

丹野齒科醫院  
 丹野淳夫  
 平野前 電話三八五番

### 滿蒙博出品

### 陳列を無料

### 平町の産業を 紹介する爲め

特に此の大英斷

既報の四月平町に開催される滿蒙と國防博覽會は既に本館の建設成り新川端に異彩を放つて居るが地方産業紹介の爲め一小間(間口六尺奥行三尺)乃至二小間の陳列場を平町の出品者に

### 平町豫算案

### 一日間で議了

町長信認を反映

平町會は去る二日午前十時より十年度豫算案に關し委員會を開き午後七時迄審議を遂げ多少の修正を施して議了した、同委員會は從來二三日を要したものであるが僅か一日を以つて終了するを得たのは豫算編正に比較的無理がなかつたのと町長信認の町會の空氣が反映した爲めであつて殆んど異數と云ふべきである、尙ほ八年度決算の委員會も同日終了本會議は明五日午後一時より開かれる

### 警中校友會

### 各部送別

警中校友會は来る七月の卒

業式を前に目下それ〴〵送別會を催してゐるが今年度各部の卒業生は左の如くである

- ▼野球部 小野秀雄 百澤易重 阿部元彦 庭球部 和田福美 競技部 小野健一 吉田康吉 鈴木志郎 秋元且吉 阿部好一 藁谷廣 柔道部 政井精敏 鈴木克己 根本富市 渡邊義雄 矢吹博信 野木忠 伊連隆志 遠藤仙次 剣道部 志賀義一 安藤知 蛭田末藏 會田正一 鈴木殿 栗城映 弓道部 猪狩一元 渡邊正夫 鈴木五郎 瀧上岩男 赤津作衛 新妻健次郎 水泳部 水野秀

三郎 志賀貞介 丹野敬二 辯論部 佐藤篤 吉田龜吉 美術部 菊地光國 柴田外面二 永山利男 柏原進 白土徳治

### 卒業生送別會

平第一小學校は来る二十日今年度卒業生の送別會を催すが卒業生は尋常科二百五名、

### 不平の中に 餘儀ない就職

それが兒童の嬉しいスタートを暗くする

卒業期が近付いて來たが就職戦線は依然として逼塞して居る、この春も若人達にとつて惱ましい材料が山積つて嬉しいスタートを暗くして居る、平町の小學校から卒業する男女兒童の中で五六十名は直ぐ就職しなければならぬ家庭の事情を持つて居る、右に關して四家紹介所主任は語る

### 縣下第一の大國旗

平商卒業生が母校に寄附

十五尺に十二尺

平商今年度卒業生は卒業記念として國旗及び附屬品一切母校に寄附する事になり目下掲揚設置中であるが同國旗は十五尺に十二尺といふ縣下第一の大旗である由

### 夏井信用總會

夏井村大越信用組合は来る六日午後一時より同村小學校に役員會を開き春期總會開催の件及び役員改選を行ふと

### 貧血馬が發生

田人村字南大平農小野梅吉氏方飼育中の三才牡馬は昨三日

心してゐるのです、だが今年も満足に希望が通るのは極めて少く、大部分が不平の中に、餘儀なく就職して行くこととせう困つた世相です

### 一着八十錢で 古外套を斡旋

平町役場兵事課で  
陸軍省から拂下げ

平町役場にては今回陸軍省から拂下げられた日露戰役當時使用の毛布製古外套を一着八十錢で斡旋する事となつたが希望者は来る八日迄町役場兵事係に申込みれ度いと

蠶糸課長來郡 佐藤本縣蠶糸課長は明五日朝双葉郡久ノ濱町を経て來郡平蠶業取締支所、磐城片倉工場等を視察の上歸郷すると

### 平町人事

△白銀町一 志賀千鶴さ  
△五丁目一三 安齋キミさ  
△(六三)  
△(一八)

### 藤沼醫院

山崎合名會社  
電話一〇番  
平町・紺屋町  
電話五〇七番

### 電話買受け度

(姓名 在 社)

### 株式賣買債權取立

合資 三共商事  
大町 電話三六〇番



印刷の御用は  
設備完全の  
「常警毎日」へ  
電話六三〇

美味!  
芳醇!  
宗正らひた

# 坑内爆発す

## 昨夜勿來坑の椿事

### 五坑夫瀕死の重傷

### 被害現場は大混乱

昨夜十一時頃勿來坑大日本炭礦勿來坑内に於て掘進作業中瓦斯爆發して轟然たる音響と共に砂礫を飛ばし坑夫小野寺長次郎(三三)同佐藤源藏(三三)の兩名は瀕死の大

の如く混乱名状し難きものがある

### 第一校珠算會 平第

一小學校の珠算競技會は來る十九日催されんと

### 學童映畫見物 平町

各小學校兒童は今日四日磐城映畫研究會主催で世界館に上映されたプレゼンジャンの船唄を觀覽した

## 鼻つまみの

### 困つた證據物

飯野村字北白土鹽佐吉さんは年四十圓で平驛構内便所の汚物拂下げを契約して居

が最近何人かが勝手に汲取るので驛前交番に届け出た處去る三日午後神谷村字中神谷鈴木春雄(三三)同正吉(三三)の兩名が無断に汚物を汲み取つて居るのを交番の鈴木部長が取押へて調べると驛の汚物は無償でも差支ないと考へ汲んで居たと云つて居るが汚物だけに證據

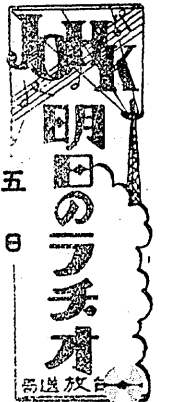
鈴木部長も持て餘す

## 滿洲の野に 花と散つた

### 軍神大越中佐の 慰靈祭を盛大に

内郷村在郷軍人分會は來る十日の陸軍記念日當日午後一時より同村白水地内巖浄寺に於て同村出身軍神大越中佐の慰靈祭を執行するが

天附近李官堡の激戦で大部隊の露軍の逆襲に遭ひ大隊は殆んど全滅に瀕し身に十數彈を受けて自刃壯烈な最後を遂げ全國民より軍神として仰がれて居り非常時日本を飾るこの慰靈祭は地元民から期待されて居る



### 明日のラジオ

五 日  
午後六、〇〇 浪花節 名匠左基五郎傳の内「千代田城」の羽ばたき 廣澤虎吉  
午後七、三〇 基礎英語講座  
午後八、〇〇 管絃樂 ベートーヴェン 連續演奏(三)  
第三番英雄ユンケル指揮  
日本放送交響樂團  
午後九、三〇 時報 ニュー

## 直税課長

### 若松に榮轉

平稅務署直稅課長伊藤平七氏は今回若松署に榮轉となり來る八日赴任するが後任は二本松署の熊澤光雄氏であると

## 水産會役員

### 改選の結果

縣水産會は此程役員改選帝國水産會議員に小名濱小野普平氏が當選した外評議員には立花唯七(小名濱)加澤一造(江名)管波未吉(四倉)の三氏が當選した

## 懸賞當選の金を

### 貧民救済資金に

### 五十嵐博士が寄附

平町警署共濟病院副院長醫學博士五十嵐雄二氏は本四日平署人事相談所へ貧民救済資金にと金二十圓を寄附

## 誘拐された酌婦

### 平町に潜伏か?

茨城縣多賀郡大津町飲食店坂本アキ方抱酌婦東京市小石川區水川町長八郎長女高田長行(三三)は本月一日二名の怪漢に誘拐され抱主は

## 炭礦出稼ぎの少年

### 本町通り徘徊中を保護

山形縣米澤市御守町一四西須政太郎三男政廣(九)は去る一日石城地方の炭礦で出稼すると稱して家出し昨日午後一時頃平町一丁目地内を徘徊中平署員に保護され本四日實父に引渡された

## 夏井村長の

### 令息博士に

石城郡夏井村々長阿部瀧藏氏長男實氏は今回醫學博士の稱號を授けられた、同氏は大正九年警中四年を修業二高に入學「帝大醫科を卒業後同大學院に在り柿内教

## 消火栓取付

### 世界館前の

平町水道部は田町世界館前消火栓取付工事の爲め本四日午後十時より明朝四時迄水道断水を行ふが断水區域は檜樋小路現文堂前から平驛前、白銀町、大工町及ぶ

## 裁判所たより

△双葉郡浪江町大字権現堂字新町九大王高田彌五郎(五九)及び同町字下深町二一材木商前科二犯菊地治尚(三五)の兩名が昨年一月中謀して同町松浦好氏名義の立木賣渡證並に領收書を偽造同町小川春彌氏から五百五十圓を騙取した事件の公判は今日午前十時から平區才判所に於て小林判事係り清田檢察官の下に開廷事實訊問の上前記關係者を證人として取調べる事とし閉廷した次回公判は來る七日午前九時

## 平職業紹介所報告

△漁業維夫 二十八才 月十五圓  
△小職員 十九才 尋卒 月六圓七圓  
△柏夫 三十迄 月十二圓  
△女中 二十迄 尋卒 月五圓六圓  
△職を求める方  
△維夫 五十九才 尋四修  
△女中 十七才 尋五修  
△給仕 十八才 佐賢卒  
△鐵工 見習 十八才 高卒  
△漁夫 三十六才 高卒



# 明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島証史  
(畫) 野口 運

第六十七回

## 入種問答 (七)

『つまり、貿易の販路を世界に搜索すること、英國とか米國とか世界の大國だけを相手とし、新開未開の國土に御得意を見つけないのですな』

『成程』

『それからもう一つ、有餘つた人間のさばけ口を新世界に向けることですわしはこのことに逸早く眼をつけて移民會社をつくらうと心がけてをる。米國とか滿蒙シベリアどこへでも人口の稀薄なところへ移住させるのです』

『成程』

茂平次はいち／＼もつともらしくうなづいた。彼はおもひだしたやうに呼鈴をならした。

紅顔の少年が顔を出した『お茶をもつてきてください』

『はつ、紅茶にいたしませんか、可否にいたしませんか』

『紅茶? コーヒー? ……』

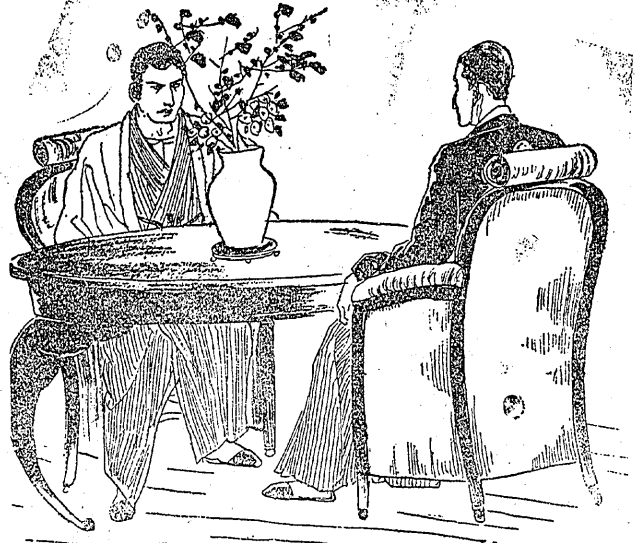
『そんなもんはいらん。日本の茶でよろしい』

『日本の茶はございませぬが』

少年は日本の茶の用意のないことを、むしろ誇るやうな口吻だつた。

『ぢや、なげりや、お湯でよろしい』

少年は口を尖らして引さがつた。



『ごらんない、日本に住んでをって、日本の食物を口にすることが出来ないありさまでござす、紅茶、コーヒーだけが茶と心得て、日本の紅茶の味を輕蔑するの、つまり文明開化といふもんださうです、ハ、ハ、ハ、』

にならつて、今後パンと肉食にし、體質改良をせねばならんといふのでパンを探したが、まだ東京市内でパンを賣る店がないので仕方なしに饅頭の皮を三度々々たべて、それであつたばれ文明開化の生活に改まつたとよろこんでるといふこと

茂平次が笑と、嘉右衛門もそれに釣られて笑つた。『まつたく…横濱などであんな、居留地の影響もあらうが立派なお乳をもつてをりながら母乳をすて、牛乳やコンデンスミルクを赤兒に攝らせ、それで文明開化だといふもんださうな婦人がだん／＼多くなつてきてをる、其爲に外國煉乳會社の出張所ではちかごろでは大繁昌對反に乳母の給金が下落するといふ有様ですよ、ハツハ、ハ、』

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町南 六 電話一七〇番

木炭代用

月星豆炭 一八キ口壹袋

金八十錢

平驛前

阿部石炭商店

看護婦急派の求めに應じます

平町南町 電話三〇七番

平看護婦會

一冊の代金で御希望通りな

五冊の雑誌が自由に讀める

川崎巡 回文庫

電六三〇 (申込次第規則書進呈)

株式賣買債權取立

會社 三共商事

大町 電話三六〇番

かまぼこ製造

杉本商店

平町一丁目

お惣菜用 さつま揚 吉原揚

電話一四一番

レストラン 平層館

電話624

遠乗りには特に御相談に應じます

是非お願ひいたします

電話六四〇番 尼子タクシーへ

切貨の御用命は!

電話六四〇番

尼子タクシーへ

是非お願ひいたします

遠乗りには特に御相談に應じます